

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公表番号】特表 2006-521458 (P2006-521458A)

【公表日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【年通号数】公開・登録公報 2006-037

【出願番号】特願 2006-509409 (P2006-509409)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 23/14

C 0 8 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 13 日 (2007.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) エラストマー；

B) A S T M D 3 4 1 7 に従って示差走査熱量測定法 D S C によって測定した融点 ( T m ) が 1 6 0 未満のランダムプロピレン / エチレンコポリマー；

C) 架橋剤；及び場合によっては

D) 溶融強度増強用ポリマーを含んでなるポリマーブレンド。

【請求項 2】

A) 成分 A の前記エラストマーが 2 0 ~ 8 0 重量 % (成分 A、B、C 及び D の総重量に基づく) の量で存在し；

B) 成分 B の前記ランダムプロピレンコポリマーが 1 5 ~ 4 5 重量 % (成分 A、B、C 及び D の総重量に基づく) の量で存在し；

C) 成分 C の前記架橋剤を、その架橋剤を含まない以外は同一のブレンド組成物に比べて、A S T M D 5 2 3 - 8 9 ( 1 9 9 9 ) による 1 5 0 での 6 0 ° 光沢度を少なくとも 2 0 % 低下させるような量で使用し；そして

D) 成分 D の前記溶融強度増強用ポリマーが 0 ~ 4 0 重量 % (成分 A、B、C 及び D の総重量に基づく) の量で存在し；そして

E) 前記ブレンドが、A S T M D - 3 4 1 7 を用いて示差走査熱量測定法 D S C によって測定したピーク融点 ( T m ) が 1 6 0 未満 であり且つ最低 T g ピークが - 1 0 未満であり；且つ

F) 前記ブレンドが 0 . 4 8 超のエンボス加工性指数 ( E I ) を有する

請求項 1 に記載のブレンド。

【請求項 3】

A) 成分 A の前記エラストマーが 3 0 ~ 7 0 重量 % (成分 A、B、C 及び D の総重量に基づく) の量で存在し；

B) 成分 B の前記ランダムプロピレンコポリマーが 2 0 ~ 4 0 重量 % (成分 A、B、C

及びDの総重量に基づく)の量で存在し且つASTM D-3417によって測定した融点(T<sub>m</sub>)が155未満であり;

C)成分Cの前記架橋剤を、その架橋剤を含まない以外は同一のブレンド組成物に比べて、ASTM D523-89(1999)による150度の60°光沢度を少なくとも30%低下させるような量で使用し;

D)成分Dの前記溶融強度増強用ポリマーが、存在する場合には、15~35重量%(成分A、B、C及びDの総重量に基づく)の量で存在し;且つ

E)前記ブレンドが、ASTM D-3417を用いて示差走査熱量測定法DSCによって測定したピーク融点(T<sub>m</sub>)が160未満であり且つ最低T<sub>g</sub>ピークが-20未満である

請求項1に記載のブレンド。

【請求項4】

A)成分Aの前記エラストマーが35~65重量%(成分A、B、C及びDの総重量に基づく)の量で存在し;

B)成分Bの前記ランダムプロピレンコポリマーが20~35重量%(成分A、B、C及びDの総重量に基づく)の量で存在し且つASTM D-3417によって測定した融点(T<sub>m</sub>)が150未満であり;

C)成分Cの前記架橋剤を、架橋剤を含まない以外は同一のブレンド組成物に比べて、ASTM D523-89(1999)による150度の60°光沢度を少なくとも40%低下させるような量で使用し;

D)成分Dの前記溶融強度増強用ポリマーが、存在する場合には、20~35重量%(成分A、B、C及びDの総重量に基づく)の量で存在し;且つ

E)前記ブレンドが、ASTM D-3417を用いて示差走査熱量測定法DSCによって測定したピーク融点(T<sub>m</sub>)が155未満であり且つ最低T<sub>g</sub>ピークが-30未満である

請求項1に記載のブレンド。

【請求項5】

a)成分Aの前記エラストマーが均一に又は不均一分岐したエチレン/ - オレフィンインターポリマー、実質的にランダムなエチレン/ビニル芳香族インターポリマー、エチレンビニルアセテート(EVA)、エチレンエチルアクリレート(EEA)及びエチレン/アクリル酸(EAA)コポリマー、ポリイソブレン、ポリブタジエン、天然ゴム、エチレン/プロピレンゴム、エチレン/プロピレンジエン(EPDM)ゴム、シリコーンゴム、スチレン/ブタジエンゴム、熱可塑性ポリウレタン、天然ゴム、スチレン/ブタジエン/スチレン(SBS)、スチレン/イソブレン/スチレン(SIS)及びスチレン/エチレン/ブタジエン/スチレン(SEBS)スチレン系ブロックコポリマー、塩素化ポリエチレン(CPE)、ブナゴム及びニトリル類並びにそれらの組合せからなる群から選ばれ;

b)成分Cの前記架橋剤が、過酸化物類、フェノール類、アジド類、アルデヒド-アミン反応生成物、置換尿素類、置換グアニジン類;置換キサントゲン酸塩類;置換ジチオカルバメート類;硫黄含有化合物、イミダゾール類、スルフェンアミド類、チウラミジスルフィド類、パラキノンジオキシム、ジベンゾパラキノンジオキシム、硫黄;シラン類、及びエレクトロンビーム放射線並びにそれらの組合せからなる群から選ばれ;且つ

c)成分Dの前記溶融強度増強用ポリマーが低密度ポリエチレン(LDPE)、高密度ポリエチレン(HDPE)、ポリスチレン(PS)、天然ゴム、エチレン/プロピレン/ジエンモノマー(EPDM)及び超高分子量ポリエチレン(UHMWPE)並びにそれらの組合せからなる群から選ばれる

請求項1に記載のブレンド。

【請求項6】

a)成分Aの前記エラストマーが0.915 g/cm<sup>3</sup>又はそれ以下の密度を有する、均一に若しくは不均一分岐したエチレン/ - オレフィンインターポリマー又は40モ

ル%又はそれ以下のビニル芳香族モノマー含量を有する、実質的にランダムなエチレン/ビニル芳香族インターポリマーであり；

b) 成分Cの前記架橋剤が過氧化物類、アジド類、シラン類、及びe-ビーム放射線、並びにそれらの組合せからなる群から選ばれ；且つ

c) 成分Dの前記溶融強度増強用ポリマーが低密度ポリエチレン(LDPE)である請求項5に記載のブレンド。

【請求項7】

a) 成分Aの前記エラストマーが $0.905\text{ g/cm}^3$ 又はそれ以下の密度を有する、均一に若しくは不均一に分岐したエチレン/オクテンインターポリマーであり；

b) 成分Cの前記架橋剤が過氧化物であり；且つ

c) 成分Dの前記溶融強度増強用ポリマーが3cN超の溶融強度を有する低密度ポリエチレン(LDPE)である

請求項6に記載のブレンド。

【請求項8】

A) エラストマー；

B) ポリプロピレンホモポリマーとASTM D3417に従って示差走査熱量測定法DSCによって測定した融点( $T_m$ )が160未満のランダムプロピレン/エチレンコポリマーとの混合物；

C) 架橋剤；及び場合によっては

D) 溶融強度増強用ポリマーを含んでなるポリマーブレンド。

【請求項9】

超高分子量シロキサンポリマー又はカーボンブラック若しくは無機充填剤又はそれらの組合せを更に含む請求項1又は8に記載のポリマーブレンド。

【請求項10】

請求項1, 8又は9に記載のブレンドを含んでなる成形品。

【請求項11】

請求項1, 8又は9に記載のブレンドを含んでなる熱成形部品。

【請求項12】

請求項1, 8又は9に記載のブレンドを含んでなるワイヤ及びケーブルジャケット。

【請求項13】

自動車用フロア又はフロアマットの形態の請求項11に記載の熱成形部品。

【請求項14】

請求項1, 8又は9に記載のブレンドの熱成形による熱成形部品の製造方法。

【請求項15】

請求項1, 8又は9に記載のブレンドを用いることによって熱成形部品の光沢度及び/又は熱成形温度を低下させる方法。

【請求項16】

請求項1, 8又は9に記載のブレンドを用いて表面粗さ及びソフトな感触が増大された成型品。